

みどりアップQ

緑×まち×未来を考えよう



Q なんて森の木を伐るの? 元気で安全な森づくり

森にはいろいろな機能があります。

雨を地面に吸収し、ゆっくり流すことで洪水を防いだり、木の根が地面を支えることで土砂の流出を防いだりする、防災・減災機能もそのひとつ。

一方で、まちの中の森は、人の生活との距離が近いからこそ、倒木や土砂崩れなどが起きない強い森であってほしいもの。

森の木を伐るのも、強い森づくりのための工夫なのです。飯島市民の森では、森の再生力を生かした元気で安全な森づくりが始まっています。

田んぼは、ビオトープ。

文 相川健志 委員

第1回 オケラってすごい! ~飛ぶ・泳ぐ・潜る~

童謡『手のひらを太陽に』にも出てくるけど、土の中で生活しているの普段あまり目にすることのないオケラ。実は田んぼや畑など身近にいることが多い。オケラのすごさを少し紹介。

モグラのように地面にトンネルを掘ることができる、バッタの仲間なので鳴くこともできるし、羽があって飛ぶことができる。さらに泳ぐ事もできる。幼虫がオケラの卵を食べるミイデラゴミムシと共生したり、オケラのトンネルは、耕作地の土づくりにも貢献してくれる。田んぼの近くで耳をすませば、ジ〜っというオケラの声が聴こえるかもしれない。

◎このコーナーについて

田んぼはお米をつくる場だけではなく、食育や環境教育、治水、景観の保全、生き物のすみかなど、人にとっても生き物にとっても大切な場所。そんな田んぼの魅力を、田んぼの生き物博士をご紹介します。



オケラ(写真:環境科学研究所)

前足は穴を掘るためにモグラみたい

森とわたしをつなぐ場所 ウェルカムセンターに行こう 第4回

寺家ふるさと村 四季の家(青葉区寺家町414)

昔ながらの横浜の田園風景が残る寺家ふるさと村にある、寺家ふるさと村四季の家。ここでは、寺家の農業や自然についてのパネルや標本の展示、市民の森・ふるさとの森等の散策情報の紹介、野草や野鳥、昆虫などの観察会のほか寺家ふるさと村を紹介するガイドツアーを行っています。



寺家ふるさと村



四季の家

総合案内所「四季の家」

住所: 〒227-0031 横浜市青葉区寺家町414

電話: 045-962-7414 FAX: 045-962-6321

開館: 9時～17時(入館は16時30分まで)

休館日: 火曜日(火曜日が祝日の場合はその翌日以降最初の平日)、
12月29日～1月3日

アクセス: 東急田園都市線青葉台駅から東急バス30系統「四季の家」
徒歩1分または31系統「鴨志田団地」徒歩3分

10月・11月はみどりアップ月間

10月・11月は、横浜の「みどり」を実感する「みどりアップ月間」です。市民の森での散策や収穫体験農園での農体験、緑に関するイベントへの参加などを通じて、横浜の農や緑の恵みを感じてみませんか?
※詳細は10月以降に下記ホームページで随時お知らせします。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/midoriup/>

横浜みどりアップ 葉っぱ



みどりアップ健康ウォーキング

横浜みどりアップ計画とは?

緑豊かな環境を将来に残すために、市民の皆さんと一緒に緑を守り、つくり、育てていく計画。財源の一部として、「横浜みどり税」を活用しています(個人市民税均等割に年間900円、法人市民税に均等割の9%相当額を上乗せ)。計画書は、環境創造局ホームページ、区役所広報相談係や市庁舎1階市民情報センター、環境創造局政策課で閲覧できます。

環境創造局ホームページ
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/midoriup/>



横浜みどりアップ計画 市民推進会議とは?

横浜みどりアップ計画について評価、提案、市民への情報提供をする、市民参加の組織です。

市民推進会議



みどりアップQとは?

みどりアップQの「Q」は「みどりアップをもっと知る、なぜなに? (クエスチョン)」と、「緑のある暮らしの質(クオリティー)を考える」。市民目線でみどりアップ計画を探っていく市民推進会議のレポートです。

みどりアップQ 第7号

(市民推進会議広報誌 第27号)平成28年9月発行
編集:横浜みどりアップ計画市民推進会議 広報・見える化部会
発行:横浜みどりアップ計画市民推進会議事務局

問合せ 横浜市環境創造局政策課(事務局)
〒231-0017 横浜市中区港町1-1
Tel:045-671-4214 Fax:045-641-3490
E-mail: ks-mimiplan@city.yokohama.jp



伐って、育てる 昔ながらの新しい森づくりが 始まっています

横浜市の市民の森、第一号として愛されてきた飯島市民の森では、いま、新しい森づくりが始まっています。暗い森から明るく生きものが豊かに育まれる森へ。まちの安心が芽生えた森づくりをレポートします。

取材 東みちよ 委員
イラスト 中村明世(市職員)

森の再生力 「萌芽更新」

栄区本郷台にある飯島市民の森。この森を訪れると、急斜面にポコポコと残る、木の切株が目につきます。

「なぜ木を伐採したの？」

そう思う人もいるかもしれませんが、これは萌芽更新という森の管理手法によるもの。大きくなった木を伐り、切り株から出た芽を育てることで、木や森を若返らせるものです。

「以前は、鬱蒼と木が生い茂り、外から斜面が見えないほどでした。でも今は明るい森になって、みなさんと一緒に安心して市民の森を散策できます」

そう語るのは飯島市民の森愛護会の飯島さん。

みどりアップ計画で、この森の再生力を生かした、新しい森づくりが始まっています。

地層も考えた、安全対策

昔は、木を薪に使うなど、こまめに木を伐っていました。今は、手つかずの森が多くなってきています。

「木が大きくなりすぎると、枝や葉が重くなり、強風などで、根っこごと倒れやすくなります。市の南部地域では、硬い地層の上に

薄い表土の層ののっている場所が多く、木は深くまで根を張ることができません。そのため、急斜面地の森では倒木や土砂崩れへの注意が必要です」と、樹木管理を計画してきた、横浜市南部公園緑地事務所の職員、中村さんは話します。

安全対策として、コンクリートの土留めなどが必要な場合もあ

飯島市民の森
萌芽更新前の様子

木が大きくなりすぎています

道に枯枝の落下の危険があります

森の中が暗く草が生えていません

萌芽更新後の様子

明るい環境を好む里山の生きものがよみがえります

木が小さくなることで、倒木を防ぎます

伐った木は、土留めや柵に活用します

道を安全に通行できます

森の中が明るくなって草が生えます

草が生えて、雨で土が削られて流れ出るのを防ぎます



斜面の高木の伐採や枝打ちをした造園会社の皆さん。高度な技術が必要です

(左から)飯島せせらぎ愛護会の榎さん、飯島市民の森愛護会の飯島さん、飯島せせらぎ愛護会の菅山さん、市民の森管理者の中村さん



2~3月に作業した木。梅雨明けには萌芽し、緑がよみがえります(6月撮影)



2年後にはこのような若い枝が出てきます(萌芽更新から2年たった場所を撮影)

ります。しかし、飯島市民の森では、まず大きくなり過ぎた斜面の木を萌芽更新することから始めました。倒木の危険性も減り、伐採した切株から新たな芽が出て若い木が育つことで、森の中が明るくなり、草が生え、土が流れるのを抑えることができます。その結果、森は元気で強い森になるのです。なお萌芽更新にあたっては、専門家の意見を取り入れ、新しく切り株から出た芽が笹で囲まれないように少し高い位置で伐るなど、木によって伐り方を工夫しています。平成27年度は、95%が萌芽し、特に萌芽の早い桜の木は、伐った株からすでにぐんぐん芽が伸びていました。

里山の風景を、子どもたちに残したい

「昔は、木を伐ることが生活の一部になっていたから、森はきちんと管理されていたんです。それに、昔は川や田んぼがあって、池もあったんです」

飯島せせらぎ愛護会の榎さんは、昔からの森の生活を知る地元民。子どもの頃、昭和30年代頃までは、お祖父さんが薪に使う木を山から伐っていたといいます。薪を使わなくなってから数十年。すっかり手入れされなくなったことで、暗い森へと変化してしまいました。

愛護会発足当初から森を見守ってきた飯島市民の森愛護会前会長の故・川井啓介さんは「森を環境教育に役立てたい。ふるさとの意識を育みたい」と熱く語っていたそうです。

ここにはもう川も田んぼもありませんが、山の湧き水を生かしたせせらぎ緑道が、小さな水辺の楽しみを残しています。里山の風景は変化してきましたが、それでもこうして自然豊かな市民の森として残されてきたことが、地域の心のふるさとを育む場にもなっています。

川井さんの遺志は、今ものどかな里山の風景に受け継がれ、未来へと続いています。

ここにみどり税 森ごとの保全管理計画づくり、木の伐採や草刈りなどの森の維持管理費

Q 里山は手入れをしないとイケないの？

A 昔の森は、木を定期的に伐って燃料の薪や炭にしたり、落葉を田畑の堆肥にしたりと、農家の生活や農作業に欠かせないものでした。このような森や田畑、水辺が一体となった環境を「里山」といいます。薪の代わりにガスや電気が使われるなど、生活が変化するなかで、里山の環境も変化していきました。

里山の環境が変わり、里山に生息している動植物が昔より少なくなってきています。生き物が豊かな美しい里山をとりもどすためには、人が森を手入れし、管理していく必要があります。

